

らくだ図書館

常木らくだの小説投稿ブログ



● 常木らくだ ●

こんばんは、らくだです。

あれこれ言っているうちに、ついに11月になりました。

まずは毎月恒例となっている、紙版のリンクを、ペタリと貼っておきますね。

【らくだ図書館 (34)】

<http://p.booklog.jp/book/91589>

それから、もう一つ。

第7回エッセイ・ブログ大賞に、「らくだ図書館」で、エントリーしてみました。

このエッセイ・ブログ大賞は、アルファポリスさんが毎月開催している、ウェブコンテンツ大賞のブログ部門です。

詳しくは下記リンクをご覧ください。

運営している自分のブログを、アルファポリスに登録すれば、どなたでも参加可能です。

【第7回エッセイ・ブログ大賞】

<http://www.alphapolis.co.jp/contPrize/boshuu/>

上のサイトにある通り、投票期間は、12月頭から末日です。

というわけで、みんな是非とも、「らくだ図書館」を応援してね！

投票期間が始まったら、また改めて告知するけど、今から宣伝しちゃうよ！

まあニッチなブログなので（汗）、受賞はなかなか難しいと思いますが、こういうイベントってワクワクしますよね。

とにかく、そんなわけで。

皆様から愛されるサイトを目指して、今月も頑張っていこうと思います。

こんばんは、らくだです。

エッセイ・ブログ大賞にエントリーしたと書きましたが、表示が切り替わらないので何回もクリックしたら、エントリー完了のメールが5通も届きました（汗）

い、いいんだ……。

やる気をアピールできたと思えば……。

まあでも、投票型のイベントは初なので、今から早くも来月が待ち遠しいです。

それで改めて思ったんですが。

自分はたぶん、小説よりもエッセイの方が、書く適性があるんじゃないかと。

いや、エッセイもたいしたことないですが、小説より少しはマシだろうという意味で。

というのも、小説を公開するのは、やっぱり抵抗があるんですよね。

知らない人に読まれるなんて不安だし、ましてや投票なんて怖いからまず無理。

でもエッセイ（ブログ）なら、知らない人に読んでもらえるのは逆に嬉しいし、投票イベントに参加するのもまったく抵抗がないというか。

票がほとんど集まらなくても、それはそれで受け入れる。

反対意見が届くのも、自分の糧になって、非常にありがたい。

ブログについては、基本的にそういう姿勢ですからね。

小説に対してもそれくらい自信を持てたら、賞の結果も違ってくると思うんですが、まだ全然そこまで到達できていない状況です。

いつか自信を持って公開できるよう、これからも精進しようと思います。

こんばんは、らくだです。

参加宣言が遅れましたが、先月は集英社ラノベと、あとHJに投稿しました。

投稿したといっても、通過できそうな気は、全然しないんですが……。

最近の自分の成績は、謙遜でも何でもなく、本当にどん底ですし……。

まあ、でも。

投稿を始めたばかりの頃は、とにかく何が何でも最短距離でデビューしたくて、焦っていたわけですよ。

何年までを最短と呼ぶかは、主観に左右されるので、明確な基準はありませんが。

けど6年っていうのは、たぶん長い方だろうし、最短距離ではないよなと。

で、どうせ最短距離は無理だったんだから、今さら焦ってイライラしても仕方ないし、「もうマイペースでいいじゃん」って気分です。

見方を少し変えれば、最短じゃないルートを通るのも、悪くないですよ。

遠回りするってことは、それだけ多くの景色を知っている、っていうことですし。

最初の数年間は本当に苦しかったんですが、そう考えるようになってからは、投稿そのものを楽しむ余裕ができました。

話題がそれてしまいましたが、集英社&HJへ投稿された皆様は、一緒に発表祭りを楽しみましょう！

あと、来月初旬には、ガガガの発表もありますね。

こちらも通る気がしますが、発表の際は、どうぞよろしく願います。

ヤフーで常木らくだを検索すると、画面右端に「常木らくだ／最安値通販」という、広告バナーリンクが表示される件。

ごくり……。

常木らくだって通販で買えるのか……。

しかも最安値ってことは、複数のショッピングサイトで、叩き売りされてるんだ……。

まあ実際のところ、それはただ単純に、マッチ広告の自動表示なんですけど。

著作物とかじゃなく、まさか本人が売買されているなんて、哀愁を誘います。

あとグーグルの方では、常木らくだと入力すると、「常木らくだ 名刺」という検索候補が出るんですよね。

誰だよ！

そんな検索したヤツ！

っていうか、もし名刺が欲しいなら、喜んで差し上げますよ？

デビューした時に備えて、300枚ほど用意してみたものの、使う予定は今のところゼロですし（汗）

1枚は自分用の栞に使ってるけど、残り299枚は机の中っていうね。

そう考えると無駄な出費……いや、無駄にしないよう、近日中にデビューしたいです。

そんなこんなのエゴサーチ。

どうせロクな評判はないだろうと思って、今まで検索したことなかったんですが、やってみたら意外と面白いものですね。

これからもたまに遊んでみようと思います。

自分で主張するのもイヤラシイですが、このブログは皆様に快適に読んでもらえるよう、細かい部分にすごく気を配っています。

色々ありますが、一例をあげると、

・ 広告の非表示

⇒広告が多いせいで表示が遅いと、イライラしちゃいますもんね

・ トップページに全文を載せる

⇒「続きを読む」の形式にすると、クリックの手間が発生するので

・ 過去5日分の記事をデフォルト表示

⇒久し振りに訪問してくれた方に、まとめて読んでもらえるように
多すぎると重くなるので、とりあえず5個の設定

・ アクセスカウンター

⇒数字の上にカーソルを置くと、訪問数の推移が表示されます

・ ファビコン（アドレス横のロゴマーク）

⇒なくても支障はないけど、あると嬉しくないですか？

パッと思いつくのは、こんなところですよ。

たとえば広告をバンバン入れて、クリックを稼げるような構造にしたら、PVは今より伸びると思うんですけど。

でもそれで、訪問者に不便を強いたら、それって本末転倒ですもんね。

そもそも「らくだ図書館」は、楽しんでもらうことが第一で、収益目的じゃないですし。

携帯サイト版は制約が多いので（広告非表示にできないとか）、自由自在とはいきませんが、不便な点があれば極力改善しますのでお知らせください。

こんばんは、らくだです。

まだ11月頭ですが、街を歩いていると、クリスマスの装飾が目立ちます。
今年はカレンダーが微妙ですが、一年を締めくくる聖夜、皆様はどんな計画でしょうか。

しかし、それにしても。
今さら言うまでもない話ですが、恋愛観って、人によって全然違いますよね。

「恋人とは毎日会いたい」って人もいれば、「数週間に一度でいいじゃん」って人もいるし、「会えなくてもいいけど電話はしたい」って人もいます。

それはもう、まさしく十人十色で、模範解答なんてありません。
他人の恋愛観を真似しても、自分の価値観と違うんだから、うまくいかないと思います。

自分は常々、思うんです。
恋愛観がこれだけ違うように、投稿観だって、人それぞれでまったく違う。
だから色々なやり方があって当然だし、他人と違ってでもいいじゃないか……と。

たとえば送る時期にしたって、「早い方が有利だよな」って人がいれば、「締切り直前まで推敲したい」って人もいます。

それはもう、個人の自由なんだから、自分の信念に従えばいいわけで。
他人と違ってても動揺する必要はないし、当然、相手を言い負かすような必要もないと。

つまり一言で表現すると、「ヨソはヨソ、ウチはウチ！」という、大阪のオカンの発想が大事だと思うわけです。

確かな信念があるのは、投稿を続ける上で、いいことですけどね。
ただ同時に、他人の信念も認められるよう、心の余裕は持っていたいものです。

こんばんは、らくだです。

エッセイ・ブログ大賞に関する反響はゼロですが、いざ実際に投票期間が始まったら、きっと皆様が応援してくださると信じております。

ホントお願い！

PVポイントじゃ一般の人気ブログに勝てないんだから！

まあでも、毎年ある企画ですからね。

今回がダメだったら、次回も再チャレンジする、っていうことで。

あと、それから。

最近ツイッターの不調(?)のせいか、@メッセージを送っていただいても、表示されない場合が多々あります。

公式アプリなんですけどね。

ここ2か月くらいずっと調子が悪いです。

しかもどういいうわけか、3日くらい過ぎてから突然表示されて、「おお、メッセージあるじゃないか(汗)」みたいな。

決して無視しているわけではありませんので！

皆様の応援は非常にありがたく受け取っております！

しかしこのまま不調が続くと困るので、一時的に、ウェブ拍手を設置することにしました。

目立ちにくいですが、PC版サイトの、一番下に置いています。

拍手後のページからコメントもできるので、常木らくだに伝えたいことがある場合は、是非ともお気軽にご利用くださいませ。

一時期スケートの話ばかり書いていたら、ブログのPVが目に見えて下がったので、話題にするのは控えていたんですが……。

G P 中国は衝撃的でしたね。

羽生選手とハンヤン選手が練習中に激突。

なのに2人とも予定通り演技をして、しかも羽生選手は2位という成績。

あの状態での出場には賛否もあったみたいですが、何より選手本人が自分で決めた選択なのだし、個人的にはあれで良かったのではないかと思います。

次の試合はハンヤン選手はG P フランス、羽生選手は月末のNHK杯だと思いますが、少しでも早く今回の怪我から回復して、元気な姿をファンに見せて欲しいですね。

あとそれから、放送終了後にツイッターを覗いたら、TLが完全にその話題一色になっていて、正直ものすごくビックリしました（汗）

いや、ちょっと！

みんなスケート見てるなら、もっと、普段から話題にしようよ！

とりあえず、アレですよ。

小説投稿とフィギュアスケート観戦って、まったく関連性のない別個の趣味だから、その2つが被っている人を見つけると、自分はすごく嬉しいんです個人的に。

というわけで、投稿者さんは例外なくウェルカムですが、他の趣味が被っているとさらに嬉しいので、是非とも皆様らくだと仲良くしてください。

昨日から最下段にウェブ拍手を仮設置しましたが、うまく運営できなければコメント欄を開放しますので、どうぞよろしく願います。

こんばんは、らくだです。

OtoBon ソングノベルズ大賞という、ちょっと変わった賞があるようです。
公式サイトリンクを貼りますので、詳細は下記ページをご確認ください。

【OtoBon ソングノベルズ大賞】

<http://otocoto.jp/songnovels/outline.html>

<募集内容>

「DREAMS COME TRUE」が発表している全ての楽曲の中から1曲（複数曲不可）を選び、その楽曲をテーマ及びタイトルにした小説を募集

<規定枚数> 短編は原稿用紙20～40枚、長編は原稿用紙200～400枚

<応募資格> 不問

<応募方法> ウェブ受付のみ（郵送不可）

<締切り> 2015年1月31日（土）

<結果発表> 2015年春頃

<賞金> 大賞受賞者は100万円&紙・電子書籍として販売

募集内容に書いてある通り、ドリカムの曲をイメージした小説を募集するという、一風変わった賞のようです。

これ、面白そうな企画ですね！

曲をテーマに小説を書くって、すごく想像力が膨らみます！

ただ、締切りが1月なので、参加できるか微妙ですが……（汗）

でも本当に、いつものやるやる詐欺じゃなく、この賞は真面目に応募したいです。

とりあえず、イメージを広げるために、ドリカムの曲を聴き直してみようと思います。

こんばんは、らくだです。

2日くらい前から、電撃の評価シートについて語れという、催促コメントが寄せられているんですが……。

まだ届いてないっつーの！

まったくこれだから東京の人間は！

でまあ、今日やっと届いたんですが、ぶっちゃけ過去最低の評価でした。

ストーリーや設定はCだし、コメントはわずか数行だし、おまけに「おままごとレベル」って書かれましたし（実話）

いや、うん、別にいいよ……。

力量不足だっていうのは、充分に自覚があったし……。

っていうかさ？

そんな全否定するくらいなら、1次で落としたりいいじゃん？

思わずそう考えてしまいました。もう一人のコメントは行数も多く好意的で、「肉付けできれば十分に読み応えのある作品になる」と。

そっちは逆に、自己評価以上に褒められていたので、同じ作品を同じレーベルの編集者さんが読んでも、感想は個人によって全然違うんだなーと改めて実感しました。

まあ、とにかく。

おままごとレベルなんて言われたままでは悔しすぎるので、次回は絶対に、誰にもそんなことを言われたい作品を書き上げるつもりです。

どうも、常木らくだです。

最近になって目覚めた趣味はおままごとです。

えへへ！

小説を書くのとっても楽しいでちゅ！

とまあ、ブログ上ではおどけた態度で振る舞いつつ、その件について真面目に考えるとヘコむので、気分転換に料理にチャレンジしてみました。



どうでしょう。

自画自賛ですが、初めてのグラタンにしては、上出来なんじゃないでしょうか。

少なくとも、ガキのおままごとでは、こんなん作れねーよな！（末永く根に持つ予定）

えー、コホン。

それはまあ、それとして。

料理をおいしそうに撮影するには、わざと見切れるくらいアップにして、手前から撮るのがコツだそうですよ。

つまり逆に考えると、真上から全景を撮るのは失敗例ってことで、試しにそういう写真も撮影してみました……。



なるほど。

まったく同じ被写体なのに、確かに最初の写真の方が、おいしそうに見える……かも？

以上、明日からすぐに役立つ、料理写真撮影の豆知識でした。

こんばんは、らくだです。

今さらすぎる話題ですが、第 25 回講談社 BOX-AiR 新人賞の選考会の様子が、10 月 29 日にニコニコ生放送で配信されました。

公式サイトで視聴できるので、リンクを貼っておきますね。

ページの真ん中あたりにニコ生動画、下の方に次回の要項が載っています。

【講談社 BOX-AiR 新人賞】

<http://kodansha-box.jp/boxair/index.html>

約 1 時間の映像ですが、選考会の様子を直接見られるって、かなり貴重ですよ。

今回投稿された皆様は当然確認済みだと思いますが、そうでない方々も、よろしければチェックしてみてください。

あとそれから、第 26 回の募集も始まっています。

詳しくはリンク先参照ですが、基本的な応募要項はこんな感じ。

締切り : 2015 年 1 月 15 日 (木)

応募原稿 : ストーリーの第 1 話 & 第 2 話の原稿を各 40 枚以内

指定書式 : 39 文字 × 16 行

応募方法 : メールにデータを添付して送信

データ形式 : テキスト、ワード、一太郎、PDF

募集する作品 : アニメーション映像としてのイメージを喚起する刺激的な作品

前に紹介した時にも触れましたが、送る原稿は第 1 話 & 第 2 話だけでいいって点が、この賞の独特な部分ですよ。

そんなわけで、ご興味を持たれた皆様は、リンク先を是非のぞいてみてください。

こんばんは、らくだです。

前回に引き続き、今さらな話題ですが……。

魔法のiらんど大賞の予選通過作が、10月末に公式サイトで発表されました。

【発表ページ】

<http://award.maho.jp/entrylist/>

予選通過した30作品は、上のリストから、読むことができます。

どの作品が最終に残るかという、読者参加型の、予想クイズも開催されています。

で、自分も作品を読んでみたんですが。

みんな改行しすぎだよ！

空白のスペースどれだけあるの！

いやまあ、携帯小説という媒体なので、当然といっちゃ当然ですけど。

紙に印刷する前提で書いている自分には、ちょっと……いや、かなりの違和感が（汗）

でもそれも表現方法の一つですし、縦書きの文庫本とはまったく違った雰囲気なので、チャレンジしてみたら面白そうだと思います。

それから、予選通過作の発表と同時に、開催要項も更新されています。

【要項ページ】

<http://award.maho.jp/outline/>

春予選のエントリー開始日は、来年2015年3月2日（月）です。

夏の日程も発表されているので、ご興味お持ちの方は、是非チェックしてみてください。

おまごとレベルの件がいまだに悔しすぎるので、いつかデビューして作品を出版する日が来たら、あとがきに書いて復讐しようと思いました。

キエエエイ！

ヤッチマイナー！

え？

そんなことブログに書くと、自分の首を絞めるって？

へっ、構うもんか！

すでに最低評価なんだから、今さら何を書いたって、これ以上悪くなんねーよ！

まあしかし、真面目な話をすると、アレですね。

昔から良薬口に苦しといいますし、悪いと指摘された部分については、きちんと受け止めようと思います。

ただ、その過程でヤケになったり、卑屈になったらいけませんよね。

どうせダメだ……って態度では、自分のいい部分まで、消えてしまうと思うので。

なので悪い部分の指摘は受け止めつつ、しかし必要以上に卑屈になることなく、胸を張って前向きに努力します。

……………。

なんていうのはただの理想論で、正直、やっぱり納得できないんですが。

作品を全否定するにしたって、もうちょっと、他に言い方があると思いますし。

ま、それを言うと堂々巡りなので、この話はこれで一旦やめにして、またぼちぼち投稿を再開しようと思います。

「阪急北」を変換したら、「半休キタ」と表示されて、久しぶりの休みが嬉しいサラリーマンのようになりました。

さてさて。

少し遅れての話題ですが、ラブタメの2次発表があったので、リンクを貼っておきます。

【発表ページ】

http://japanlovestory.jp/archives/second-vol_10-information

応募総数 444本

2次通過 5本

通過率 1.1%

通過率約1%という相変わらずの激戦ですが、通過された方はおめでとうございます。

あと、それから。

すでに恒例となっている、あと一步の作品（2次選考分）も、下記で紹介されています。

【あと一步の作品】

http://japanlovestory.jp/information/second-vol_10-information/3327.php

選出されたのは11本。

「あと一步」といっても、全体の2%に入っているわけですから、十分にスゴイですよ。

最終発表は来月下旬。

そして受賞作の書籍化は3月ということです。

すでに何度も書いている通り、自分は1次で落選した人間ですが、どの作品が受賞するのか楽しみに待とうと思います。

常木らくだ、簿記に挑戦！

というわけで、簿記3級と4級を、こっそりと受検しました。

近ごろ音信不通だったのは、ヘコんでいたせいもありますが、勉強をしていたからです。

以下取り組んでみた感想ですが、簿記の油断できないところは、どこかで1つ計算を間違ってしまうと、その後の数字がすべて狂ってしまう部分です。

本当、もうね。

凡ミスで計算を間違えて、その後の問題も全滅だった時なんか、半端じゃない挫折感。

でも逆に言うと、1時間くらいかけて精算表を完成させて、左右の数字が合致した瞬間なんかは、暗記科目の比ではない達成感があると感じました。

模範解答が存在するって、本当にいいことですよ。

ワナビブロガーの自分が言うのもアレですが、小説投稿は「のれんに腕押し」みたいな部分があるので、努力してもあんまり達成感とかないですし。

そう考えると、投稿よりも資格試験の方が、やり甲斐はだいぶ大きいなあと。

いや、言わせてくれ。

普段はともかく、毒を吐き出したい気分なんだ、今の精神状態は。

とにかく、3級と4級については、勉強してみて面白かったです。

合格発表はまだ先なんですけど、やってよかったと思いました。

次は2級を受ける予定ですが、2級はそう簡単にいかないと思うので、今から頑張っって勉強しようと思います。

せっかく「ヤッチマイナー！」ネタを書いたんだから、14日の記事タイトルは「ワナ・ビル」にしたかったんですが、微妙にわかりにくいかもしれないと思って没にしました。

それはさておき。

ここ一週間、多数の応援をいただき、非常に感謝しております。

検索キーワード経由では、「立ち上がれ」、「見返してやろう」、「気にすることない」、「弱音を吐いてもいいよ」、「何が何でも作家になるんだ」……等々。

みんな、どうもありがとう！

みんなって言うより、たぶん同じ人だと思うけど、とにかくありがとう！

検索キーワードからコメントって、手間が掛かって面倒だろうに、いつも本当にありがたい限りです。

あとそれから、「私もこう言われた経験があります」と、酷評された体験を教えてくれた方もいらっしゃいました。

本当にもう、泣けてきますね……。

書くのもツライだろうに、常木を励ますために、そこまでのなんて……。

というわけで。

コメントをくださった方々、ありがとうございました。

皆様から寄せられる応援の言葉は、ブログを書く上で一番の原動力です。

ツイッターや、ウェブ拍手後の画面などから、是非お気軽に送ってください。

そんなわけで、しばらく更新が途絶えてしまいましたが、皆様に愛されるサイトを目指して今後も頑張りたいと思います。

ガガガで落選ガガガーン！

というネタを書くのも3年目です。
そして来年以降も通りそうな気がしません。

いやはや。
それにしてもビックリですね。

落ちたことは予想通りなのですが、まさか12月1日発表の伝統を破って、今年は11月に（しかも火曜日に）1次発表が来るなんて……。

まあでも、あと〇日後っていう感覚が続くと心臓に悪いので、不意打ちで発表してくれた方がありがたいような気がします。

そんなわけで、前置きが長くなりましたが、いつも通り発表ページのリンクを貼っておきますね。

【発表ページ】

http://www.gagaga-lululu.jp/gagaga/grandprix/entry09_1stResult.html

応募総数 1172本
1次通過 100本
通過率 約8.5%

1次発表がこういう日程になった以上、2次発表の時期がまったく予想できませんが、自分は落選したので気分がラクチン。

1次通過したうらやましい皆様は、クリスマスもお正月も胃をキリキリさせながら、結果を待てばいいと思います。

第1回集英社ライトノベル新人賞のゲスト審査員の講評が、スーパーダッシュ文庫の公式サイトに掲載されています。

すでにチェック済みの方々も多いと思いますが、第1回のゲスト審査員は、まどまぎで有名な新房昭之監督でした。

リンクを貼っておきますので、ご興味ある方はご覧ください。

最終選考4作品の講評と、全体の総評が載っています。

【ゲスト審査員講評】

<http://dash.shueisha.co.jp/award/review.html>

こういう文章を読むと、作品の内容をまったく知らなくても、「この指摘、自分は大丈夫かな？」とか考えられて、色々勉強になりますよね。

そういうわけで、講評をチェックするのは好きなんですけど、たまにものすご〜く思うことがあるんです。

よく審査員の先生が、「〇〇モノが多かった」、「どれも流行作品に似た印象」、「もっとオリジナリティが欲しい」とかコメントするじゃないですか。

いやいや！

流行作品を意識しないと、最終まで行けないんだよ！

オリジナリティ爆発させたら、絶対に1次選考で落ちるから！

……って思いませんか？（汗）

まあ作者に本当に実力があれば、流行とか関係なく、上まで行けるんでしょうけれど。

そんな領域に辿り着けるよう、文句ばかり言っていないで、もっと精進しようと思います。

「らくださんって長い間、なろうのアカウントを放置してるけど、活動しないんですか？」という質問をいただきました。

えっ？

なろうのアカウントなんて持ってないよ？

そんなわけで、「この人は何を言ってるんだろう？」と思いつつ、半信半疑で念のために検索してみたら、常木らくだのアカウントあるじゃないですかー！

【常木らくださんのマイページ】

<http://mypage.syosetu.com/424483/>

いや、でもね。

嘘でもネタでも冗談でもなく、本当に作った記憶ないです（汗）

その証拠にログインIDもわからないし、過去の受信メールを隅から隅まで確認しても、なろうからの通知なんて届いてないし……。

何なの？

同姓同名の投稿者さん？

これ本当に不思議なので、なろうに確認しようと思ったんですが、本人確認が取れないと対応してもらえないんですよね。

しかしログインIDが不明のままでは、当然ながら本人確認を取ることもできず、運営に問い合わせもできないっていう状況。

そういうわけで、このままでは気になって仕方がないので、同姓同名の常木らくださんがいらっしゃったら、お手数ですが是非当方までご連絡ください。

皆様の応援が更新の原動力です！
是非お気軽にコメントをお寄せください！

とアピールした翌日、「常木らくだはギャグセンスが昭和で、時間が止まったような人間だが、それこそが最大の持ち味だと思う」というエールが届きました。

待てよ。
それ応援じゃないだろ。

しかしこういう「罵倒励まし」は、自分のドM的なツボ直撃なので、画面の前で思わずニヤリとなりました。

コメント主さん、いつもありがとうございます。
これからも素敵な罵倒を、是非よろしくお願いします。

あと、罵倒じゃない普通の応援としては、活動1年目のフレッシュな投稿者さんから、「らくださんの背中を追って頑張ります！」というメールをいただきました。

ちょっと待って！
常木の背中を追っちゃダメ！
むしろ真逆の方向に進んだ方がいいから！

これはネタでもギャグでも謙遜でもなく、非常にリアルな忠告ですので、心の片隅にとどめておいてください（白目）

でも、背中とはもかく、そう思ってもらえるのは嬉しいですね。

そんなわけで、皆様からのコメントを、まだまだ募集しております。
記事の感想だけでなく、質問や雑談も大歓迎ですので、どうぞお気軽にお寄せください。

いつも鋭いツッコミで応援してくれる方は、月末締切りのG Aに参加予定だそうで、投稿が終わるまでコメントしないとされました。

コメントしないというコメントもコメントだと思うんですが、そんな一休さんのようなトンはさておき、頑張って締切りを乗り越えてまた戻ってきてくださいね。

しかし、それにしても。

今回色々あって、投稿意欲を失いかけて、改めて気付いたんですが。

投稿者さんと交流する利点って、励まし合えること、これに尽きると思うんです。言葉にすると当然なんですけど、実際に落ち込んで、また改めて実感したというか。

作家になりたいという夢は一緒でも、落ち込むタイミング・やる気が出るタイミングって、人によってまったく違いますよね。

送る賞によって締切りが違うし、結果発表のタイミングも違うし。

たとえ同じ賞に送っていても、発表でどうなるかは、人それぞれで違うわけだし。

だからこそ、仲間が落ち込んだ時は励ましたいし、逆に自分が落ち込んだ時は励まして欲しいし、いわば「持ちつ持たれつ」な状態ですよ。

それは決して一方的な関係じゃなくて。

時と場合によって、相手のことを助けたり、逆に助けられたりもする。

長年結果が出ないのはツライですが、活動が続ける中でそんな仲間が増えていくのは、すごく素敵なことだなあと思います。

まあ、本音をぶっちゃけて言うと、さっさと受賞したいですけど（汗）

ですが、投稿歴が長いからこそできた縁は、これからも大事にしたいと思います。

こんばんは、らくだです！

先週受けた簿記検定、無事に合格しました！

3級は受かって当然みたいな風潮がありますが、それでも合格率は40%程度（つまり半分以上の人が不合格）なので、ちゃんと合格できてとりあえずホッとしました。

逆に言うと、受賞枠が1%にも満たない投稿の世界って、どんだけ無理ゲーなんだよって話ですが……。

もう本当に、自分が言うのもアレですが、とんでもない世界ですよ。

仕組みがまったく違うけど、確率だけの話をすれば、司法試験より難関っていう。

それはともかく、次は2級を受けるので、また引き続き頑張ります。

ところで、自分は独学だと怠けるので、資格の学校に通っているんですが。

周囲の人達にやる気があるので、行くだけでも、結構いい刺激になっています。

やっぱり、資格の学校に来ているのって、すすんで勉強している人達なので。

当然モチベーションも高いし、高校や大学の授業とは、全然雰囲気が違うというか。

こういう「夢のために頑張るんだ」って空気は、勉強する上でも有意義なんですけど、投稿に対しても非常にいい刺激になります。

前回の仲間の話もそうですが、周囲の影響って、実はものすごく大きいですよ。

自分の温度が低くても、周囲の温度が高ければ、自然と高くなりますし。

そんな時、自分一人だけだったら、永遠に低いままの状態ですけど。

まあとにかく、次回も一発で合格できるよう、真面目に勉強しようと思います。

こんばんは、らくだです。

執筆応援サイト「小説家のたまご」さんが、気になる記事を掲載されているので、ここで紹介してみたいと思います。

【執筆仲間は敵か味方か】

<http://xn—38jva8b9cv681aipal42x.com/talk/125/>

色々書いてありますが、内容を簡単に要約しますと、

ミクシィやツイッターで執筆仲間を作る

↓

感想や宣伝のリツイート、お礼リプに時間を奪われる

↓

執筆の時間を奪うものは敵だから、執筆仲間は敵なんじゃないだろうか

という趣旨の議論が展開されています。

自分はこの記事を読んで、正直、とても悲しくなりました。

理由は、執筆仲間は敵かもしれないなんて、一度も考えたことがなかったからです。

仮に投稿者さんとの交流で時間が減っても、そのおかげでモチベーションが上がったり、自分になかった視点に気付かせてもらったり、取られた時間以上の効果が生まれる例はたくさんあると思うんですが……。

まあ「小説家のたまご」さんは、周囲に議論を投げかけているだけであって、敵だと言い切っているわけじゃないんですけどね。

いずれにせよ、自分は味方だと思っているし、これから先もずっとそうです。

執筆仲間は敵なのか味方なのか、皆様の考えはいかがでしょうか。

こんばんは、らくだです。

執筆仲間は敵か味方かという、前回取り上げたテーマについて、たくさんの反応をいただきました。

一例を紹介しますと、「自分は味方だと思う」、「敵でもあるし味方でもある」、「敵ではないけどライバルだ」、「仲良くなるのはいいが、馴れ合いはよくない」等々……。

ご意見をくださった皆様、ありがとうございました。

創作に対する価値観は人それぞれなので、無理に正解を決める必要はないと思いますが、こうして投稿者同士で意見をぶつけ合うと、とても勉強になるし面白いですね。

というわけで、どの主張にも共感したんですが、一番そうだよなあーと思ったのは、「本当の敵は自分自身」というコメントです。

そうだよ！

本当の敵は自分自身だよ！

つまりオイラの敵は常木らくだで、弱いのにある意味しぶとそうな相手だから、倒すのは一苦労だなんていう（違）

でも本当に、自分の一番の敵って、他にもない自分自身ですよ。

その観点はなかったけれど、指摘されて、ものすごく共感しました。

どれくらい共感したかということ、そのテーマについて、徹夜で語れそうなレベルです。

本当の敵は、周囲の投稿者ではなく、自分自身。

その自分に負けないように、これからも頑張りたいです。

こちら側のどこからでも切れますと書いてある調味料の袋がなかなか切れなかった時のストレスは無限大。

けっ！

できない約束なんてするんじゃねーよ！

そんなボヤキはさておき、簿記検定合格の祝福コメントを送ってくださった方、ありがとうございました。

お礼を言うのが遅れましたが、ちゃんと届いておりますので！

ウェブ拍手は非公開なので、直接お礼が書けませんが、これからもどうぞよろしく！

それにしても、嬉しいですよ。

小説投稿者である以上、通過を祝ってもらえるのは、ある意味普通だと思うんですよ。

まあ、ほとんど通過しないので、そういう機会は滅多にないですが。

でもこうして、投稿とまったく関係ない話を書いても、惜しみなく祝福してもらえるなんて、ありがたくて本当に泣けてくるというか……。

というわけで。

またこういう思いをするために、次回も絶対に合格したいです。

落ちたら「心がボキボキ」って書こうと思ったんですが、そんな化石のようなギャグを考えてないで、2月まで真面目に勉強しなくちゃいけませんね。

あと、簿記と同時進行で、FPも勉強しています。

そちらは1月なので、あと2か月間、頑張ろうと思います。

うーん……。

最近なんか元気が出ない……。

なんて思っていたんですが、よく考えたら、コレが足りてませんでした。



火鍋と小籠包と青島ビール！

というわけで、久し振りに火鍋を食べて、かなり元気が回復しました。

お店がとても混んでいて、1時間くらい待ったんですが、それでも非常に満足です。

話はちょっと飛びますが、「以前北京に住んでました」と言うと、「毎日本場の中華料理なんて素敵ですね」と羨望の目で見られたりします。

ちなみに自分は、その本場の中華が致命的に口に合わず、サブウェイとケンタッキーとマクドナルドを、朝昼晩ずっとローテーションしていたんですが……。

しかし！

そんな自分でも食べられて、そしておいしいと思ったのが、火鍋だったというわけです！

ラム肉は独特のクセがあるので、たぶん苦手な方も多と思います。

正直なところ、自分もどちらかと言うと、そんなに好きじゃありません。

ただ、火鍋に入れると、本当においしくなるんです。

ラム肉を敬遠している方は、是非一度、実際に食べてみてください。

そんなわけで、宣伝のようになりましたが、とにかく元気が復活しました。

来週から寒くなるらしいですが、パワーをつけて、冬を乗り越えたいと思います。

少し前にTLを眺めていたら、「投稿者が執筆論を語るのはみっともないんじゃないか」という話題が流れていたの、今回はその件についてです。

あらかじめ前置きしておきますが、何が正解か、決めたいわけじゃないですよ。そもそも正解なんてない問題ですし、あくまでも、自分はこう思うよーって話です。

それでまあ。
冒頭のテーマについて、自分の意見は、どうなのかと言うと。

みっともない？
気にすることないじゃないか！
素人だろうが何だろうが、執筆論を語りたなら、どんどん熱く語ろうぜ！

という考えなんです、しかし、節度は必要だと思います。

執筆論を語るのはいいんですが、自分と違う意見の相手を攻撃したり、バカにしたような態度を取るの、見ていて気持ちいいものではないですからね。

上から目線はよくないです。
いや、自分もそうかもしれないし、人のことは言えないんですが（汗）

まあでも、執筆に対する自分なりの考えを発信するのは、投稿界の活性化にもつながると思いますし、どんどん積極的にしていけばいいんじゃないかと。

投稿の話をするのは、楽しいですもんね。
なんだかんだ言っても、やっぱり、好きなことですから。

自分はそう感じているので、変に上から目線になったりせずに、悩んだり落ち込んだりする等身大の姿を、ありのままに発信していきたいと思います。

今年のNHK杯は大阪開催だったのに、はずせない用事があって、残念ながら観戦に行けませんでした。

うわーん！

現地で応援したかったよー！

なんて思っていたら、たまたま立ち寄ったホテルで、こんな看板を大発見。



まさかの指定ホテル！

記者会見場とオフィシャルディナーの看板です！

ここが会場とはまったく知らず、本当に偶然立ち寄っただけだったので、心の底からビックリしました。

すかさずホテルのスタッフに声をかけ、「NHK杯の出場選手が泊まってるんですか？」と質問したら、「詳しいことは言えません」との返答。

うわー！

否定しないってことはそうなんだー！

テンションが上がった勢いで、「大阪でフィギュアの試合がある時は、いつもここが指定ホテルなんですか？」と質問したら、「だいたいそうです」という返事でした。



出待ちをするような時間はなかったので、選手に会えたりはしなかったんですが、ちょっとハッピーな気分になりました。

来シーズンも大阪で試合があるといいなー！

以前はブログの更新が途絶えると、「まさか拾い上げ?」「電話があったんですか?」と聞かれたのに、今はブログの更新が途絶えると、「また落選したんですね」「酷評に負けないでください」というメッセージが届く件。

やめてくれ!

そんな言い方をすると、落選して酷評されるのが、大前提みたいじゃないか!

まあ実際そうなんですけれど(汗)、いつか電話が来るような段階まで進んで、浮き名を流してみたいものです。

さてさて。

月末恒例のpapier版ですが、今回で35冊目となります。

毎度しつこいですが、リンクを貼っておきますので、よろしければどうぞ。

らくだ図書館（35）

<http://p.booklog.jp/book/92897>

このまま順調にいけば、来月で36冊目になり、なんと3周年達成です。

投稿ブログを長く続けている方はいても、この更新頻度で3年間……っていう例は、正直あまりないんじゃないかと思います。

普通は忙しくて無理ですよ。

逆の見方をすると、自分はどんだけ暇人なんだ、っていう話ですが。

とにかく、ここまで続けてきたからには、投稿ブログの最長更新記録を目指して、4年5年と頑張っていきたいです。

今後も「らくだ図書館」を、よろしく願います!